

第4学年2組 道徳学習指導案

平成22年10月7日(木) 第2校時
指導者 教育センター所員 野中皇児

1. 主題名 『自分のよさを発揮しよう』 【内容項目1-(5) 個性伸長】
2. 資料名 「運動会の1日」 (自作資料)
3. 主題設定の理由

○ねらいとする価値について

個性の伸長を図るために積極的に自分のよさを伸ばす児童を育てようとする内容項目であり、今回の学習指導要領から新しく設定された。

個性の伸長とは、自分のよさを生かすことであり、自分らしさを発揮しながら調和のとれた自己を形成していくことである。長所だけではなく短所も含んだ自分の特徴を知り、その上で、長所をさらに伸ばしていこうとすることが大切である。そのために、児童が多様な個性や生き方に触れる中で自分の特徴に気付くようにしたり、友達との交流の中で認め合う場をつくったりして、長所をさらに伸ばしていこうとする気持ちを育てたい。

○児童について

本学級は、明るい児童が多い。昼休みにみんなドッチボールをして遊んだ時も、やる気がなくて途中でやめるような子どもは1人もおらず、男女仲良く遊ぶことができていた。

自分のよさについて事前に『心のノート』に書かせたところ、「外で元気に遊ぶ」「あいさつをよくする」が多かった。

苦手な活動の中にも、自分のもつよさを生かしながらがんばれることがあるということに気付かせ、実践への意欲を持たせることは、とても大切なことだと考える。

○資料について

本資料は、みつえという4年生の女の子を主人公とした自作資料である。

みつえは運動が苦手で、毎年9月にある運動会やそのための練習を嫌だと思っている。そういう娘の様子を見ていたみつえの母親が、「あなたのいいところを生かしてがんばったらいいんじゃないかな。」とみつえに言う。この母親の言葉で、みつえは、いろいろと考え始める。

運動会の当日、みつえは、運動種目以外の応援や後片付けなどをがんばる。そのことを友達や先生に認められ、「自分がやれることをしっかりやってよかった」と思えたという内容である。

本資料から、苦手だからとかいやだからという理由でそのことから逃げようとするのではなく、自分のよさを生かしながら、自分ができることをしっかりやろうという積極的な考えをもつことの大切さを感じてほしい。

○指導について

導入では、運動会の時のことを思い起こさせることで、本資料の内容へと結び付ける。

展開前段では、まず、主人公みつえの「いやなことから逃げたい」という気持ちについて、自分のことと比べながら考えさせる。そして、母親に言われた言葉から、運動会の中で発揮できそうな自分のいいところを考え始めたみつえの立場になって、どんなことができそうかを想像させる。次に、友達のふみちゃんから声をかけられたときのみつえの嬉しい気持ちに共感させる。最後に、みつえの先生の言葉を読み聞かせ、ねらいとする道徳的価値の内面的な自覚を促したい。

展開後段では、11月上旬に「係活動発表会」をすると仮定して、その発表会を成功させるために、自分はどんなことができるのかを想像させて道徳カードに書かせる。そのとき、なぜそれをやろうと思ったのか、その理由をきちんと記述させるようにしたい。

終末では、本時の学習が形として残る物を渡し、自己の生き方についての考えを深めさせたい。

4. 本時のねらい

みつえの行動から、いやなことや苦手なことの中にも自分のよさを生かせることに気付かせ、何事にも自分のよさを生かしながら前向きに取り組んでいこうとする気持ちを育てる。

5. 展開

	学習活動	発問や指示と予想される反応	指導上の留意点
導入	1 運動会の時の様子を振り返る。	○「運動会、楽しかった？」 ・楽しかった ・楽しくなかった ○「それはどうして？」 ・活躍できたから ・走るのが苦手だから	・「台風の日」という種目をしてきたときの写真を見せ、運動会の本番や練習のときのことを想起させる。 ・理由を尋ねながら、それぞれに得意なことや苦手なことがあって、楽しい気持ちになったりいやな気持ちになったりしていることを押さえる。
	2 クラスの実態を知る。	◇「4年2組のみんなの好きなことや得意なことを発表します。」 ・スポーツが多いな～ ・虫とりはきっとA君のことだ	・事前に『心のノート』に書かせておいた、自分が好きなことや得意なことについてのクラス全体の結果を知らせる。
展開	3 本時のめあてを知る。	◇「今日のめあてを確認しましょう。」 ・前向きにとってどんな心だろう ・本当にそう思えるのかな	・『自分のよさを生かして前向きに取り組んでいこうとする心について考えよう』というめあてを提示する。本時の道徳の学習は何について考えていくのかを、子どもたちに明確に示しておく。
	4 資料「運動会の日」の話を読み、主人公みつえのことについて考える。	○「みつえがため息をついたのはどうしてだろう？」 ・運動会の練習が毎日あるから ・運動が苦手だから ○「あなたのいいところを生かしてがんばったらいいんじゃないかなと言われたみつえはどんなことを考え始めたでしょう？」 ・石ころ拾いをがんばったらいい ・応援をがんばったらいい ○「ふみちゃんから感謝の言葉を言われたとき、みつえはどう思っただろう？」 ・応援してよかった ・私の声が届いたんだ	・運動会に消極的なみつえの気持ちを考えさせると同時に、導入で出された意見を振り返りながら、誰にでもある「苦手なことから逃げたい」という気持ちに共感させる。 ・運動が苦手なみつえが、どんないいところを生かしてがんばれるのかを想像させる。 ・2～3人の少人数で話し合わせた後、その中で出された考えを発表させる。
	5 自分のよさを生かして活動にかかわる姿を想像する。	◇「自分のよさを生かしながらどうやって発表会にかかわるのかを書いてください。」 ・生き物係として、金魚のことを4コママンガで伝えよう	・ただ単に「嬉しかった」という気持ちしか出ない場合は、補助発問をすることで前向きに取り組んだ結果だということに気付かせる。 ・資料の最後の部分を読む。みつえの担任の話の中に、本時の道徳的価値にかかわる内容を入れておく。 ・自分の喜びの経験を想起させる。 ・「係活動発表会」をすると仮定して、その発表会を成功させるために、自分は何ができるのかを想像させて道徳カードに書かせる。
終末	6 本時にかかわる名言を知る。		・本時に学習したねらいとする道徳的価値にかかわる名言をしおりにして子どもたちに渡す。

6. 評価

自分のよさや自分らしさを発揮しながら、前向きに取り組んでいこうとする気持ちを表すことができたか（道徳カード）

道徳カード

名前()

『運動会の一日』

○ いやなことや苦手なことの中にも、自分のよさが生かせる
ということに気づきましたか。

はい○
いいえ△

○ 自分の「よさ」や「得意なこと」を書いてください。

○ 『係活動発表会』の成功に向けて、自分のよさを生かし
ながら、どうやってさんかしているかと思えますか。

例 いきもの係・・・ぼくは、まんがをかくのが得意なので、教室でかっている
金魚のことを、4コマまんがにしてみよう！

【係名】

係

【自分のどういうよさを生かして、さんかしたいと思うか】

